

## 『北国街道野々市の市 協賛行事』

### 『北陸鉄道松金線廃線跡を訪ね歩く』

開催日 平成28年10月9日(日)(小雨決行)

集 合 室生犀星記念館玄関前(金沢市千日町) 午前10時集合

コース 室生犀星記念館出発(午前10時10分頃) ⇒旧白菊町駅跡 ⇒野町駅前  
⇒旧泉駅跡 ⇒旧有松駅跡 ⇒旧二万堂駅跡 ⇒旧押野丸木駅跡  
⇒北鉄野々市駅 ⇒布市神社着(午前11時30分頃到着予定)  
布市神社で休憩、食事、野々市の市イベント参加  
布市神社出発(午後12時30分頃) ⇒旧中野々市駅跡 ⇒旧太平寺駅跡  
⇒太平寺バス停(路線バス乗車) ⇒ハツ矢バス停下車 ⇒旧松任駅前駅  
⇒JR松任駅周辺で解散(午後2時頃)  
※ののいち里まち倶楽部によるガイド付き!

参加費 無料(路線バスの乗車賃は各自でご負担願います)

主 催 明日の金沢の交通を考える市民会議

協 賛 北国街道野々市の市実行委員会

後 援 金沢市 野々市市 白山市 北陸中日新聞 北國新聞社

#### 【北陸鉄道松金線とは】

松金線(しょうきんせん)は、石川県金沢市の野町駅から石川県石川郡松任町(現白山市)の松任駅までを結んでいた北陸鉄道の鉄道路線です。開業時の1905年(明治38年)は馬車鉄道でした。

第二次大戦中に金沢市内線の路線延長区間に資材を供出するため、野々市ー野町駅前間が廃止され、残存区間も国道8号線(当時、現県道291号線)の整備と北陸鉄道の経営合理化のため、1955年(昭和30年)11月15日全線廃線となりました。

#### 【本行事の目的】

松金線は石川線より開業が古く、明治後期から昭和中期にかけて松任ー野々市ー金沢を結んでいました。また最盛期には、野町から金沢市内線に乗り入れ、香林坊や兼六園下まで運行していた記録があります。現代のLRTの先駆けとも言える画期的な交通システムでした。

今回の探訪ツアーでは、石川総線の元々の起点であった旧白菊町駅跡を出発して、野町駅前から松金線の沿線を歩きながら、当時の面影や開業させた先人の苦労を偲ぶとともに、貴重な郷土史の一つとも言える松金線について、その史実を広く平成の人々に伝えていきたいと思ひます。

また、現在、金沢都市圏で導入が検討されている新しい交通システムの候補路線は当時の松金線と路線区間がほぼ一致しています。今回のツアーにより現在の街並みや交通事情を直接視察し、松金線の意義や価値について検証及び再評価を行い、LRT等新しい交通システムの可能性についても考えていきます。

●参加ご希望の方は、E-mail または FAX にてお申し込み下さい。

E-mail : kanazawa5243@cpost.plala.or.jp FAX 076-262-3590

### 【松金線の概要】

起終点 起点:野町駅 終点:松任駅

開業 1905年(明治38年)11月22日

廃止 1955年(昭和30年)11月15日

所有者

松金馬車鉄道→松金電車鉄道→金沢電気軌道→北陸合同電気→北陸鉄道(旧)  
→北陸鉄道

路線総延長 8.4 km (5.2 mi)

軌間 1,067 mm (3 ft 6 in)

過去の軌間 914 mm (3 ft)

電化 直流 600 V 架空電車線方式

### 【松金線の往時の路線図】

#### 0.0 野町駅前

(金沢市内線)

0.2 八幡裏

0.4 泉

0.8 泉新町

1.3 有松

1.6 二万堂

2.1 米泉

2.6 押野丸木

3.2 野々市(石川線)

3.4 中野々市

3.7 野々市西口

4.4 太平寺

4.7 稲荷

5.4 三日市

6.2 本田中

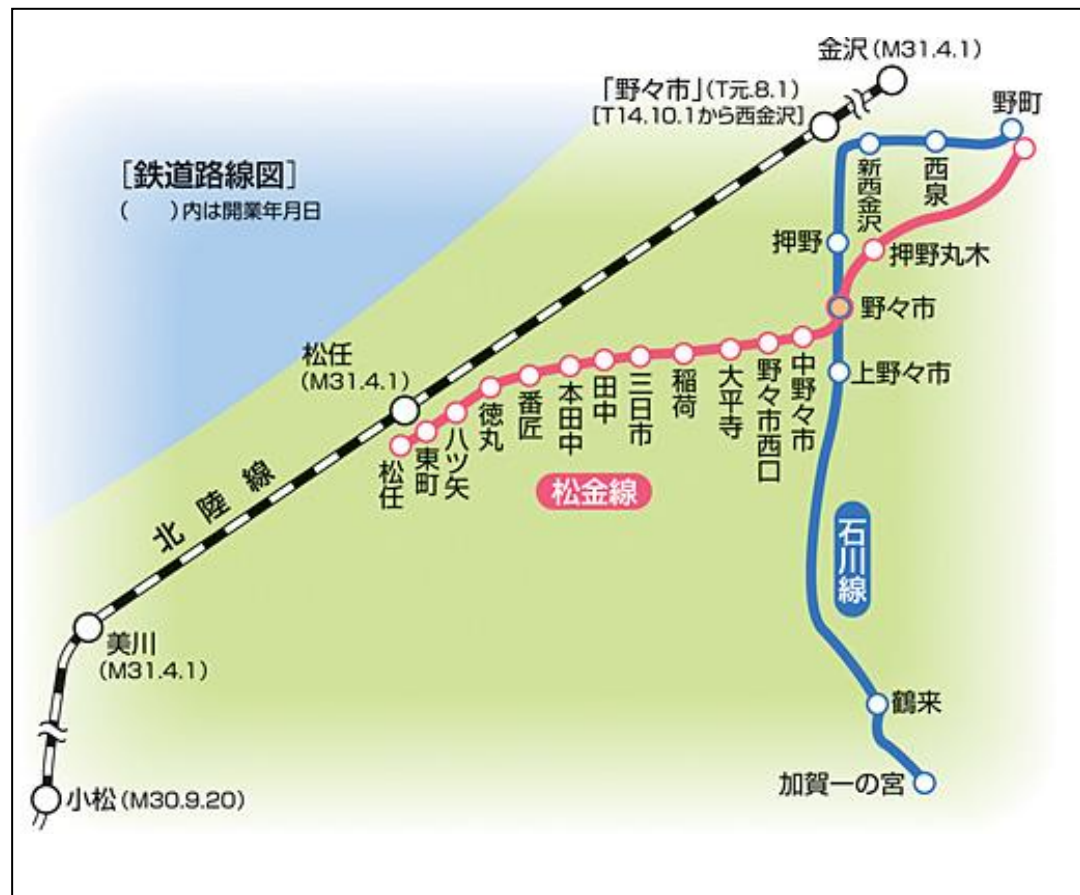
6.8 番匠

7.3 徳丸

8.0 八ツ矢

8.2 東町

#### 8.4 松任(国鉄:北陸本線)



参照:野々市市ホームページ及びウィキペディアフリー百科事典

### 【注意事項】

本行事遂行に際して、当会は細心の注意を払いますが、万一行事中で発生した事故やケガについての責任は負えません。本行事は高齢者にも無理のないウォーキングですが、当日体調不良の方はご遠慮ください。当日参加される方は、水筒やペットボトルなど飲料水の携行をお奨めします。